

第4回 フィールドフォースカップ 大会要項

- 1、 1回戦敗退のチームは、敗者復活戦に出場。各チーム最低2試合可能。
- 2、 大会最終日に、準決勝・敗者復活決勝・3位決定戦・決勝戦の計5試合を行う。
- 3、 審判は、球審を行うチームは1名、塁審は他チーム2名の3人体制で行う。
- 4、 試合ボールは、準決勝までの予選は、当該チームで用意する。
最終日の決勝トーナメントの5試合分の試合ボールは、本部で用意します。
- 5、 試合は7回戦までとし、試合時間は1時間30分、準決勝以降は2時間を超えて新しい回には入らない。但し、攻守交代を考えて、残り時間が1分未満の場合は新しい回に入らない。
- 6、 「コールドゲーム」
暗黒、降雨によるコールドゲームは、5回(4回1/2)とする。
得点差によるコールドゲームは、3回以降10点差、5回以降7点差とする。
但し、決勝戦に限りコールドゲームは採用しない。
- 7、 「タイゲーム」
7回を終わって両チーム同点のときは9回まで時間内延長とする。
尚、決勝、準決勝は、回数制限なく時間内延長とする。
- 8、 「タイブレイク方式」
継続打順で前回の最終打者を1塁走者とし、2塁走者は前位、3塁走者は前々位の打者とする。(無死満塁の状態にして得点の多いチームを勝ちとする。)
勝敗が決しない場合は、更に継続打順でこれを繰り返す通常の延長戦と同様に規則によって認められる。選手の交代は認められる。
タイブレイクは2回まで行う事とする。2回まで行っても、勝敗を決することが出来なかった場合は、「抽選」とする。
「抽選方法」
 - ①審判員及び試合終了時に出場していた両チームメンバーが終了挨拶の体形に整列する。(守備位置番号1<投手>から9<右翼手>の順で並ぶ)
 - ②抽選用紙に○印・×印各9枚、計18枚を記入した物を封筒に入れる。
 - ③球審が18枚の封筒を持ち、先行チームより1人ずつ交互に選ばせる。
 - ④2人の審判員が両チームの選んだ封筒を集め、それぞれ監督立会の元に同時に開封する。
 - ⑤○印の多いチームを抽選勝ちとする。
- 9、あくまでも交流試合なので、指導者はその点を十分に考慮すること。(クレーム厳禁)
- 10、ベンチは組合せ番号の若い方を1塁側とする。